学校番号	T1202

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	デジタルアート	単位数	１単位	年次	３～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自主製作教材・プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習を通しての学習が多いため、自分のペースで自主的に課題に取り組みましょう。
・実習を通して獲得する経験を重視し、適切にメディアを取り扱う力を身につけます。
・実習を通して静止画や動画データの適切な取り扱いを理解しましょう。
・常により効果的なものを求める態度を重視し、いろいろな手段での情報発信に取り組みます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
コンピュータで扱われる各種デジタルデータの活用に関する知識と技術を習得し、現代社会における各種デジタルデータの意義や役割について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
情報を適切に収集、処理し活用する能力と態度を養い、静止画や動画、アニメーション作成など各種映像の作成や編集を通して、デジタルデータをアートとして適切に処理し活用する能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
試行錯誤して自分の作品をより良いものにするため、主体的・実践的に取り組む態度を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	インターネットにおいてWeb デザインが果たす役割やその成り立ちを理解したうえで、画像編集ソフトやグラフィックデザインソフト、動画編集ソフトについての基本操作を身につけることができる。	ソフトウェアを使用して課題を制作する中で、学習した内容を活用して自分の思いを作品に表現する力を身につけ、グラフィックデザイン等について自ら考えデザインできる。	課題に取り組む中で、学習した内容を振り返り、それらを活用してより良い作品を制作していこうとすることができる。また、将来を見据えて自らの目標へ前向きに取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月～6月（10月～12月）	画像編集の基礎	画像編集ソフトの基礎 ・画像のトレース、画像の色彩 ・各種効果の使用 画像編集ソフトによる作品制作 ・各種機能を用いた作品制作	a:画像編集ソフトのしくみを理解し、画像を加工することができる。 b:見本画像を加工することができる。 c:授業内課題に対して自ら考え、意欲的に取り組んでいる。	授業内課題	学習状況の観察 成果物	授業内課題 学習状況の観察 成果物
6月～9月（12月～2月）	画像編集の応用	課題作成 ・Photoshop、illustratorなどのソフトの基本的な操作を身につけ、課題作成を行う	a:画像編集ソフトのしくみを理解し、画像を加工することができる。 b:インターネット等を用いて画像を検索しながら、画像編集ソフトを活用して画像を適切に加工することができる。 c:過去の授業を振り返り画像編集ソフトの特徴を理解した上で作品に取り組むことができる。	授業内課題	授業内課題 学習状況の観察 成果物	授業内課題 学習状況の観察 成果物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度